

平成29年度
基本データ分析による
自己点検評価書

平成29年11月
国立大学法人 金沢大学

目 次

1-1 自己点検評価項目（基礎項目）

| | |
|------------------|---|
| ① 専任教員数 | 1 |
| ② 専任教員一人当たりの学生数 | 1 |
| ③ 入学志願者及び入学状況 | 2 |
| ④ 収容定員充足率 | 2 |
| ⑤ 標準修業年限内卒業・修了者数 | 3 |
| ⑥ 就職状況 | 3 |
| ⑦ 資格取得状況 | 4 |

1-2 自己点検評価項目（重点項目）

項目Ⅰ 教育

| | |
|-----------------------|---|
| ① アクティブ・ラーニングの活用 | 5 |
| ② 授業時間外学修時間 | 5 |
| ③ 授業科目の英語化 | 6 |
| ④ 卒業・修了生の多国籍企業等への就職者数 | 6 |

項目Ⅱ 研究

| | |
|-----------------------------|---|
| ① 分野融合型研究による共著論文数 | 7 |
| ② 科研費獲得状況，共同研究受入状況，受託研究受入状況 | 7 |
| ③ 女性研究者数，若手研究者数 | 9 |

項目Ⅲ 社会連携・社会貢献

| | |
|-------------|----|
| ① 生涯学習機会の提供 | 10 |
|-------------|----|

項目Ⅳ グローバル化

| | |
|---|----|
| ① 学生の海外での学修経験，卒業・修了生の海外学修経験率，海外派遣プログラム数 | 11 |
| ② 外国人留学生数 | 12 |
| ③ 海外協定校数 | 13 |

項目Ⅴ 附属病院・附属学校

| | |
|------------------------|----|
| ① 医師主導治験・先進医療の実施件数 | 14 |
| ② 附属学校における教育実践研究等の実施件数 | 14 |

項目Ⅵ その他

| | |
|---------------|----|
| ① 年俸制適用者数 | 15 |
| ② 寄附金（基金）受入状況 | 15 |

1-1 自己点検評価項目（基礎項目）

① 専任教員数

| | |
|---------|--|
| 評価基準 | 設置基準で定める数以上 |
| 点検・評価結果 | 全ての学域，研究科について，専任教員数，研究指導教員数，教授数及び実務家教員数が評価基準を満たしており，適正である。 |
| 優れた点 | |
| 改善を要する点 | 特になし |

② 専任教員一人当たりの学生数

| | |
|---------|--|
| 評価基準 | 専任教員（現員）一人当たりの学生数（現員）が，設置基準上の専任教員一人当たりの学生数（収容定員）以下 |
| 点検・評価結果 | 全ての学域，研究科について，専任教員（現員）一人当たりの学生数（現員）が評価基準を満たしており，適正である。 |
| 優れた点 | |
| 改善を要する点 | 特になし |

③ 入学志願者数及び入学状況

| | |
|---------|--|
| 評価基準 | <p>【志願状況】</p> <p>学士課程：志願倍率が3倍以上 大学院課程，専門職学位課程：実質倍率が過去5年平均以上（法務研究科については，実質倍率が2倍以上）</p> <p>【入学状況】</p> <p>入学定員充足率が70%以上130%未満</p> |
| 点検・評価結果 | <p>【志願状況】</p> <p><学士課程> 医薬保健学域における編入学について，評価基準を満たしていない。 <大学院課程（修士課程，博士前期課程，博士後期課程，博士課程）> 人間社会環境研究科（博士後期課程）及び自然科学研究科（博士後期課程）について，評価基準を満たしていない。 <専門職学位課程> 法務研究科について，評価基準を満たしていない。</p> <p>【入学状況】</p> <p><学士課程> 人間社会学域及び医薬保健学域における編入学について，評価基準を満たしていない。 <大学院課程（修士課程，博士前期課程，博士後期課程，博士課程）> 医薬保健学総合研究科（修士課程）及び人間社会環境研究科（博士後期課程）について，評価基準を満たしていない。 <専門職学位課程> 全ての研究科について，評価基準を満たしており，良好である。</p> |
| 優れた点 | |
| 改善を要する点 | <p>以下について，評価基準を満たすための取組が求められる。</p> <p>【志願状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・医薬保健学域（編入学） ・人間社会環境研究科（博士後期課程） ・自然科学研究科（博士後期課程） ・法務研究科 <p>【入学状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・人間社会学域（編入学） ・医薬保健学域（編入学） ・医薬保健学総合研究科（修士課程） ・人間社会環境研究科（博士後期課程） |

④ 収容定員充足率

| | |
|---------|---|
| 評価基準 | <p>収容定員充足率が90%以上 休学者等を控除した収容定員充足率が110%未満</p> |
| 点検・評価結果 | <p><学士課程> 全ての学域について，評価基準を満たしており，良好である。 <大学院課程（修士課程，博士前期課程，博士後期課程，博士課程）> 医薬保健学総合研究科（修士課程）及び自然科学研究科（博士後期課程）について，評価基準を満たしていない。 <専門職学位課程> 法務研究科について，評価基準を満たしていない。</p> |
| 優れた点 | |
| 改善を要する点 | <p>以下について，評価基準を満たすための取組が求められる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・医薬保健学総合研究科（修士課程） ・自然科学研究科（博士後期課程） ・法務研究科 |

⑤ 標準修業年限内卒業・修了者数

| | |
|---------|--|
| 評価基準 | 学士課程：標準修業年限内卒業率が85%以上 大学院課程，専門職学位課程：標準修業年限内修了率が80%以上 |
| 点検・評価結果 | <学士課程> 人間社会学域について，評価基準を満たしていない。 <大学院課程（修士課程，博士前期課程，博士後期課程，博士課程）> 人間社会環境研究科（博士後期課程），自然科学研究科（博士後期課程） 及び医薬保健学総合研究科（博士後期課程，博士課程）について，評価基準を満たしていない。 <専門職学位課程> 法務研究科について，評価基準を満たしていない。 |
| 優れた点 | 以下について，高い水準となっている。 ・医薬保健学域（94.6%） ・医薬保健学総合研究科（修士課程）（100.0%） ・自然科学研究科（博士前期課程）（93.3%） ・医薬保健学総合研究科（博士前期課程）（94.1%） |
| 改善を要する点 | 以下について，評価基準を満たすための取組が求められる。 ・人間社会学域 ・人間社会環境研究科（博士後期課程） ・自然科学研究科（博士後期課程） ・医薬保健学総合研究科（博士後期課程，博士課程） ・法務研究科 |

⑥ 就職状況

| | |
|---------|--|
| 評価基準 | 学士課程：就職率が全国平均以上 大学院課程：就職率が92.5%以上 |
| 点検・評価結果 | <学士課程> 全ての学域について，評価基準を満たしており，良好である。 <大学院課程（修士課程，博士前期課程，博士後期課程，博士課程）> 人間社会環境研究科（博士前期課程）について，評価基準を満たしていない。 |
| 優れた点 | 以下について，高い水準となっている。 ・理工学域（100.0%） ・医薬保健学域（100.0%） ・医薬保健学総合研究科（修士課程）（100.0%） ・自然科学研究科（博士前期課程）（100.0%） ・医薬保健学総合研究科（博士後期課程）（100.0%） |
| 改善を要する点 | 以下について，評価基準を満たすための取組が求められる。 ・人間社会環境研究科（博士前期課程） |

⑦ 資格取得状況

| | |
|---------|--|
| 評価基準 | 医療関連国家資格：取得率が90%以上 司法試験：合格率が全国平均の1/2以上 |
| 点検・評価結果 | <p><医療関連国家資格> 全ての資格について、評価基準を満たしており、良好である。</p> <p><司法試験> 評価基準を満たしており、良好である。</p> |
| 優れた点 | <p>以下について、高い水準となっている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・医薬保健学域 <ul style="list-style-type: none"> 看護師（100.0%） 理学療法士（100.0%） 薬剤師（100.0%） |
| 改善を要する点 | 特になし |

1-2 自己点検評価項目（重点項目）

項目 I 教育

① アクティブ・ラーニングの活用

| | |
|---------|---|
| 評価基準 | アクティブ・ラーニング・アドバイザー（ALA）数が前年度以上 アクティブ・ラーニング（AL）の導入割合が前年度以上 アクティブ・ラーニング・アドバイザー（ALA）採用科目数が前年度以上 |
| 点検・評価結果 | 【ALA数】 評価基準を満たしており、良好である。 【ALの導入割合】 国際基幹教育院（共通教育）について、評価基準を満たしていない。 【ALA採用科目数】 国際基幹教育院（共通教育）及び全ての学域（専門教育）について、評価基準を満たしており、良好である。 |
| 優れた点 | 【ALA数】 以下について、実数値が、前年度より増加かつ中期計画KPIを上回っている。 ・ALA数（平成27年度：95名，平成28年度：284名） 【ALの導入割合】 以下について、割合が、前年度より増加かつ学士課程の平均割合を上回っている。 ・人間社会学域（平成27年度：67.1%，平成28年度：82.5%） ・理工学域（平成27年度：77.3%，平成28年度：93.7%） ・医薬保健学域（平成27年度：74.2%，平成28年度：79.5%） 【ALA採用科目数】 以下について、実数値が前年度より増加かつ割合が学士課程の平均割合を上回っている。 ・国際基幹教育院（共通教育） （平成27年度：0科目，平成28年度：87科目） ・理工学域（平成27年度：20科目，平成28年度：29科目） |
| 改善を要する点 | 以下について、評価基準を満たすための取組が求められる。 【ALの導入割合】 ・国際基幹教育院（共通教育） |

② 授業時間外学修時間

| | |
|---------|--|
| 評価基準 | |
| 点検・評価結果 | |
| 優れた点 | |
| 改善を要する点 | |

※「隔年でのデータ収集のため、本年度は評価を実施しない」

③ 授業科目の英語化

| | |
|---------|---|
| 評価基準 | 英語による授業科目の割合が前年度以上 |
| 点検・評価結果 | <p><学士課程> 国際基幹教育院（共通教育）及び全ての学域（専門教育）について、評価基準を満たしており、良好である。</p> <p><大学院課程（修士課程，博士前期課程，博士後期課程，博士課程）> 全ての研究科について、評価基準を満たしており、良好である。</p> |
| 優れた点 | <p>以下について、割合が、前年度より増加かつ学士課程又は大学院課程の平均割合を上回っている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・人間社会学域（平成27年度：4.8%，平成28年度：6.7%） ・理工学域（平成27年度：5.6%，平成28年度：10.1%） ・医薬保健学域（平成27年度：3.8%，平成28年度：6.9%） ・自然科学研究科（博士前期課程） （平成27年度：16.8%，平成28年度：35.1%） ・自然科学研究科（博士後期課程） （平成27年度：28.9%，平成28年度：43.4%） ・医薬保健学総合研究科（博士後期課程） （平成27年度：21.2%，平成28年度：45.1%） ・医薬保健学総合研究科（博士課程） （平成27年度：25.3%，平成28年度：28.3%） |
| 改善を要する点 | 特になし |

④ 卒業・修了生の多国籍企業等への就職者数

| | |
|---------|---|
| 評価基準 | 就職者に占める海外進出者の割合が前年度以上 |
| 点検・評価結果 | <p><学士課程> 理工学域及び医薬保健学域について、評価基準を満たしていない。</p> <p><大学院課程（修士課程，博士前期課程，博士後期課程，博士課程）> 医薬保健学総合研究科（修士課程，博士後期課程）及び人間社会環境研究科（博士後期課程）について、評価基準を満たしていない。</p> |
| 優れた点 | <p>以下について、割合が、前年度より増加かつ学士課程又は大学院課程の平均割合を上回っている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・人間社会学域（平成27年度：4.5%，平成28年度：4.8%） ・自然科学研究科（博士前期課程） （平成27年度：32.3%，平成28年度：33.5%） ・自然科学研究科（博士後期課程） （平成27年度：43.1%，平成28年度：47.9%） ・医薬保健学総合研究科（博士課程） （平成27年度：18.2%，平成28年度：25.9%） |
| 改善を要する点 | <p>以下について、評価基準を満たすための取組が求められる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・理工学域 ・医薬保健学域 ・医薬保健学総合研究科（修士課程，博士後期課程） ・人間社会環境研究科（博士後期課程） |

項目Ⅱ 研究

① 分野融合型研究による共著論文数

| | |
|---------|---|
| 評価基準 | 共著論文数が前年度以上 |
| 点検・評価結果 | 新学術創成研究機構及び先魁プロジェクト異分野融合研究について、評価基準を満たしており、良好である。 |
| 優れた点 | |
| 改善を要する点 | 特になし |

②-1 科研費獲得状況

| | |
|---------|--|
| 評価基準 | 科研費（新規及び継続）の獲得件数又は獲得金額が前年度以上 |
| 点検・評価結果 | がん進展制御研究所について、評価基準を満たしていない。 |
| 優れた点 | <p>以下について、実数値が前年度より増加かつ対前年度増加率が全学の平均増加率を上回っている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・理工研究域 獲得件数（平成27年度：197件，平成28年度：216件） ・医薬保健研究域 獲得金額（平成27年度：583,960千円，平成28年度：822,250千円） ・附属病院 獲得件数（平成27年度：99件，平成28年度：109件） ・学際科学実験センター 獲得件数（平成27年度：10件，平成28年度：12件） 獲得金額（平成27年度：23,010千円，平成28年度：32,240千円） ・外国語教育研究センター 獲得件数（平成27年度：8件，平成28年度：11件） ・環日本海域環境研究センター 獲得件数（平成27年度：15件，平成28年度：17件） 獲得金額（平成27年度：63,440千円，平成28年度：92,430千円） ・大学教育開発・支援センター 獲得金額（平成27年度：1,950千円，平成28年度：5,330千円） ・国際機構 獲得件数（平成27年度：5件，平成28年度：8件） 獲得金額（平成27年度：3,770千円，平成28年度：10,790千円） |
| 改善を要する点 | <p>以下について、評価基準を満たすための取組が求められる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・がん進展制御研究所 |

②-2 共同研究受入状況

| | |
|---------|--|
| 評価基準 | 共同研究の受入件数又は受入金額が前年度以上 |
| 点検・評価結果 | がん進展制御研究所，学際科学実験センター及び国際機構について，評価基準を満たしていない。 |
| 優れた点 | <p>以下について，実数値が前年度より増加かつ対前年度増加率が全学の平均増加率を上回っている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・人間社会研究域 <ul style="list-style-type: none"> 受入件数（平成27年度：4件，平成28年度：9件） 受入金額（平成27年度：2,130千円，平成28年度：5,542千円） ・理工研究域 <ul style="list-style-type: none"> 受入件数（平成27年度：152件，平成28年度：157件） ・附属病院 <ul style="list-style-type: none"> 受入件数（平成27年度：6件，平成28年度：7件） 受入金額（平成27年度：10,392千円，平成28年度：17,131千円） ・新学術創成研究機構 <ul style="list-style-type: none"> 受入件数（平成27年度：16件，平成28年度：22件） 受入金額（平成27年度：25,275千円，平成28年度：92,511千円） |
| 改善を要する点 | <p>以下について，評価基準を満たすための取組が求められる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・がん進展制御研究所 ・学際科学実験センター ・国際機構 |

②-3 受託研究受入状況

| | |
|---------|--|
| 評価基準 | 受託研究の受入件数又は受入金額が前年度以上 |
| 点検・評価結果 | 人間社会研究域及び国際機構について，評価基準を満たしていない。 |
| 優れた点 | <p>以下について，実数値が前年度より増加かつ対前年度増加率が全学の平均増加率を上回っている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・理工研究域 <ul style="list-style-type: none"> 受入件数（平成27年度：51件，平成28年度：57件） 受入金額（平成27年度：483,218千円，平成28年度：607,229千円） ・附属病院 <ul style="list-style-type: none"> 受入金額（平成27年度：106,359千円，平成28年度：143,624千円） ・がん進展制御研究所 <ul style="list-style-type: none"> 受入件数（平成27年度：12件，平成28年度：18件） ・学際科学実験センター <ul style="list-style-type: none"> 受入件数（平成27年度：1件，平成28年度：3件） 受入金額（平成27年度：1,000千円，平成28年度：9,981千円） ・環日本海域環境研究センター <ul style="list-style-type: none"> 受入件数（平成27年度：5件，平成28年度：7件） ・新学術創成研究機構 <ul style="list-style-type: none"> 受入件数（平成27年度：6件，平成28年度：11件） 受入金額（平成27年度：33,349千円，平成28年度：58,870千円） |
| 改善を要する点 | <p>以下について，評価基準を満たすための取組が求められる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・人間社会研究域 ・国際機構 |

③-1 女性研究者数

| | |
|---------|---|
| 評価基準 | 女性研究者の割合が前年度以上 |
| 点検・評価結果 | 理工研究域，医薬保健研究域及び附属病院について，評価基準を満たしていない。 |
| 優れた点 | 以下について，割合が，前年度より増加かつ中期計画KPIを上回っている。 <ul style="list-style-type: none"> ・人間社会研究域（平成28年度：22.8%，平成29年度：23.2%） ・国際基幹教育院（平成28年度：27.8%，平成29年度：28.8%） |
| 改善を要する点 | 以下について，評価基準を満たすための取組が求められる。 <ul style="list-style-type: none"> ・理工研究域 ・医薬保健研究域 ・附属病院 |

③-2 若手研究者数

| | |
|---------|---|
| 評価基準 | 若手研究者の割合が前年度以上 |
| 点検・評価結果 | 全ての対象部局について，評価基準を満たしており，良好である。 |
| 優れた点 | 以下について，割合が，前年度より増加かつ全学の平均割合を上回っている。 <ul style="list-style-type: none"> ・医薬保健研究域（平成28年度：23.2%，平成29年度：25.4%） ・国際基幹教育院（平成28年度：20.4%，平成29年度：27.1%） ・がん進展制御研究所（平成28年度：31.9%，平成29年度：33.3%） ・新学術創成研究機構（平成28年度：41.2%，平成29年度：44.0%） ・附属病院（平成28年度：31.5%，平成29年度：33.0%） |
| 改善を要する点 | 特になし |

項目Ⅲ 社会連携・社会貢献

① 生涯学習機会の提供

| | |
|----------------|---|
| <p>評価基準</p> | <p>公開講座の実施講座数又は受講者数が前年度以上 ミニ講演の実施講座数又は受講者数が前年度以上 能登里山里海マイスター育成プログラムの受講者数又は修了者数が前年度以上</p> |
| <p>点検・評価結果</p> | <p>【公開講座】 評価基準を満たしていない。 【ミニ講演】 評価基準を満たしており、良好である。 【能登里山里海マイスター育成プログラム】 評価基準を満たしており、良好である。</p> |
| <p>優れた点</p> | |
| <p>改善を要する点</p> | <p>以下について、評価基準を満たすための取組が求められる。 ・公開講座</p> |

項目Ⅳ グローバル化

① 学生の海外での学修経験，卒業・修了生の海外学修経験率，海外派遣プログラム数

| | |
|---------|--|
| 評価基準 | <p>学生の海外での学修経験者の合計数が前年度以上 卒業・修了生の海外学修経験率が前年度以上 海外派遣プログラムの合計数が前年度以上</p> |
| 点検・評価結果 | <p>【学生の海外での学修経験】 <学士課程> 全ての学域について，評価基準を満たしており，良好である。 <大学院課程（修士課程，博士前期課程，博士後期課程，博士課程）> 人間社会環境研究科（博士後期課程）について，評価基準を満たしていない。</p> <p>【卒業・修了生の海外学修経験率】 <学士課程> 評価基準を満たしており，良好である。 <大学院課程（修士課程，博士前期課程，博士後期課程，博士課程）> 全ての課程について，評価基準を満たしており，良好である。</p> <p>【海外派遣プログラム数】 全ての対象部局について，評価基準を満たしており，良好である。</p> |
| 優れた点 | <p>【学生の海外での学修経験】 以下について，実数値が前年度より増加かつ対前年度増加率が学士課程又は大学院課程の平均増加率を上回っている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・理工学域（平成27年度：84名，平成28年度：159名） ・医薬保健学総合研究科（修士課程） （平成27年度：2名，平成28年度：3名） ・自然科学研究科（博士前期課程） （平成27年度：61名，平成28年度：127名） ・医薬保健学総合研究科（博士前期課程） （平成27年度：3名，平成28年度：18名） ・医薬保健学総合研究科（博士課程） （平成27年度：16名，平成28年度：40名） <p>【卒業・修了生の海外学習経験率】 以下について，割合が，前年度より増加かつ全学の平均割合を上回っている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・博士前期課程（平成27年度：9.5%，平成28年度：22.0%） ・博士後期課程（平成27年度：24.6%，平成28年度：49.6%） ・博士課程（平成27年度：11.7%，平成28年度：30.6%） <p>【海外派遣プログラム数】 以下について，実数値が前年度より増加かつ対前年度増加率が全学の平均増加率を上回っている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・国際機構（平成27年度：3件，平成28年度：13件） |
| 改善を要する点 | <p>以下について，評価基準を満たすための取組が求められる。</p> <p>【学生の海外での学修経験】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・人間社会環境研究科（博士後期課程） |

② 外国人留学生数

| | |
|----------------|--|
| <p>評価基準</p> | <p>外国人留学生数が前年度以上 国際交流協定に基づく外国人留学生数が前年度以上</p> |
| <p>点検・評価結果</p> | <p>【外国人留学生数】 <学士課程> 人間社会学域について、評価基準を満たしていない。 <大学院課程（修士課程，博士前期課程，博士後期課程，博士課程）> 人間社会環境研究科（博士前期課程，博士後期課程），自然科学研究科（博士前期課程）及び先進予防医学研究科について、評価基準を満たしていない。 【国際交流協定に基づく外国人留学生数】 <学士課程> 人間社会学域及び医薬保健学域について、評価基準を満たしていない。 <大学院課程（修士課程，博士前期課程，博士後期課程，博士課程）> 人間社会環境研究科（博士前期課程），医薬保健学総合研究科（博士後期課程）及び先進予防医学研究科について、評価基準を満たしていない。</p> |
| <p>優れた点</p> | <p>【外国人留学生数】 以下について、実数値が前年度より増加かつ対前年度増加率が学士課程又は大学院課程の平均増加率を上回っている。 ・理工学域（平成28年度：45名，平成29年度：54名） ・医薬保健学総合研究科（博士前期課程） （平成28年度：10名，平成29年度：15名） ・自然科学研究科（博士後期課程） （平成28年度：89名，平成29年度：109名） ・医薬保健学総合研究科（博士後期課程） （平成28年度：24名，平成29年度：27名） ・医薬保健学総合研究科（博士課程） （平成28年度：54名，平成29年度：68名） 【国際交流協定に基づく外国人留学生数】 以下について、実数値が前年度より増加かつ対前年度増加率が学士課程又は大学院課程の平均増加率を上回っている。 ・理工学域（平成28年度：3名，平成29年度：8名） ・自然科学研究科（博士前期課程） （平成28年度：28人，平成29年度：33人） ・人間社会環境研究科（博士後期課程） （平成28年度：13名，平成29年度：16名） ・自然科学研究科（博士後期課程） （平成28年度：58名，平成29年度：84名） ・医薬保健学総合研究科（博士課程） （平成28年度：25名，平成29年度：31名）</p> |
| <p>改善を要する点</p> | <p>以下について、評価基準を満たすための取組が求められる。 【外国人留学生数】 ・人間社会学域 ・人間社会環境研究科（博士前期課程，博士後期課程） ・自然科学研究科（博士前期課程） ・先進予防医学研究科 ・国際機構 【国際交流協定に基づく外国人留学生数】 ・人間社会学域 ・医薬保健学域 ・人間社会環境研究科（博士前期課程） ・医薬保健学総合研究科（博士後期課程） ・先進予防医学研究科 ・国際機構</p> |

③ 海外協定校数

| | |
|---------|--|
| 評価基準 | 大学間国際交流協定校の合計数が前年度以上 部局間国際交流協定校の合計数が前年度以上 |
| 点検・評価結果 | 【大学間国際交流協定校の合計数】 評価基準を満たしており，良好である。 【部局間国際交流協定校の合計数】 全ての対象部局について，評価基準を満たしており，良好である。 |
| 優れた点 | 以下について，実数値が前年度より増加かつ対前年度増加率が全学の平均増加率を上回っている。 【部局間国際交流協定校の合計数】 ・人間社会学域，教育学研究科，人間社会環境研究科，法務研究科，教育実践研究科，人間社会研究域 （平成28年度：16件，平成29年度：18件） ・理工学域，自然科学研究科（平成28年度：21件，平成29年度：24件） ・がん進展制御研究所（平成28年度：3件，平成29年度：4件） |
| 改善を要する点 | 特になし |

項目 V 附属病院・附属学校

① 医師主導治験・先進医療の実施件数

| | |
|---------|--|
| 評価基準 | 医師主導治験の実施件数が前年度以上 先進医療の実施件数が前年度以上 |
| 点検・評価結果 | 【医師主導治験の実施件数】 評価基準を満たしており、良好である。 【先進医療の実施件数】 評価基準を満たしており、良好である。 |
| 優れた点 | |
| 改善を要する点 | 特になし |

② 附属学校における教育実践研究等の実施件数

| | |
|---------|--|
| 評価基準 | 大学との協働による教育実践研究の実施件数が前年度以上 先導的・実験的な教育プログラムの実施件数が前年度以上 |
| 点検・評価結果 | 【大学との協働による教育実践研究の実施件数】 全ての附属学校について、評価基準を満たしており、良好である。 【先導的・実験的な教育プログラムの実施件数】 附属特別支援学校について、評価基準を満たしていない。 |
| 優れた点 | |
| 改善を要する点 | 以下について、評価基準を満たすための取組が求められる。 【先導的・実験的な教育プログラムの実施件数】 ・附属特別支援学校 |

項目VI その他

① 年俸制適用者数

| | |
|---------|--|
| 評価基準 | 年俸制適用者数が前年度以上 |
| 点検・評価結果 | 医薬保健研究域及び学際科学実験センターについて、評価基準を満たしていない。 |
| 優れた点 | 以下について、実数値が前年度より増加かつ対前年度増加率が全学の平均増加率を上回っている。 <ul style="list-style-type: none"> ・人間社会研究域（平成27年度：5名，平成28年度：6名） ・理工研究域（平成27年度：47名，平成28年度：55名） ・新学術創成研究機構（平成27年度：9名，平成28年度：11名） |
| 改善を要する点 | 以下について、評価基準を満たす取組が求められる。 <ul style="list-style-type: none"> ・医薬保健研究域 ・学際科学実験センター |

② 寄附金（基金）受入状況

| | |
|---------|-------------------------------------|
| 評価基準 | 寄附金（金沢大学基金・修学支援基金）の受入件数又は受入金額が前年度以上 |
| 点検・評価結果 | 評価基準を満たしており、良好である。 |
| 優れた点 | |
| 改善を要する点 | 特になし |

国立大学法人金沢大学における全学の自己点検評価実施要項

(趣旨)

第1条 この要項は、国立大学法人金沢大学自己点検評価規程第4条第5項に基づき、全学の自己点検評価の実施に関し、必要な事項を定める。

(種類)

第2条 全学の自己点検評価の種類は、次のとおりとする。

- (1) 基本データ分析による自己点検評価
- (2) 年度計画の実施状況に係る自己点検評価
- (3) 中期目標の達成状況に係る自己点検評価
- (4) 機関別認証評価基準による自己点検評価

(実施時期)

第3条 前条各号に掲げる自己点検評価は、(1)及び(2)にあつては毎年度、(3)及び(4)にあつては、法人評価及び機関別認証評価の実施時期を考慮して、計画的に実施するものとする。

(実施方法)

第4条 第2条各号に掲げる自己点検評価の実施方法は、次のとおりとする。

- (1) 基本データ分析による自己点検評価
 - ア 企画評価室は、別に定める基本データについて、大学情報データベース、学校基本調査等から抽出・収集し、企画評価会議に提出する。
 - イ 企画評価会議は、前記の資料を参考に、認証評価基準等に基づき全学の自己点検評価を行う。
- (2) 年度計画の実施状況に係る自己点検評価
 - ア 各理事及び各部局長は、各年度の年度計画の実施状況を企画評価会議に報告する。
 - イ 企画評価会議は、年度計画の実施状況について点検評価を行う。
- (3) 中期目標の達成状況に係る自己点検評価
 - ア 各理事及び各部局長は、中期目標の達成状況を企画評価会議に報告する。
 - イ 企画評価会議は、前記の資料を参考に、中期目標の達成状況について点検評価を行う。
- (4) 機関別認証評価基準による自己点検評価
 - ア 各理事及び各部局長は、機関別認証評価基準に基づく関係資料を企画評価会議に提出する。
 - イ 企画評価会議は、前記の資料を参考に、機関別認証評価基準に基づき全学の自己点検評価を行う。

附 則

この要項は、平成23年4月1日から施行する。